

PAT-NO: JP02001052059A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001052059 A
TITLE: MEDIUM RECORDED WITH ACCOUNTING
SUPPORT PROGRAM FOR DENTAL CLINIC
PUBN-DATE: February 23, 2001

INVENTOR-INFORMATION:
NAME COUNTRY
NIWA, TOMOHIKO N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
NIWA TOMOHIKO N/A

APPL-NO: JP11224147
APPL-DATE: August 6, 1999

INT-CL (IPC): G06F017/60, A61C019/00 , G06F019/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To efficiently perform accountant's business in a dental clinic.

SOLUTION: Plural work sheets W1,... are alternatively switched and are displayed on a display device of a computer. The work sheet W1 is provided with a treatment charge input table 1 where the charge for treatment is inputted by classifications of medical security, a reception money amount input table 2 where the amount of reception money is inputted by items, a payment money amount input table 3 where the amount of payment

Best Available Copy

money is inputted by items, and a balance display table 4 where a balance is displayed. Income and expenditure in the unit of one day are recorded in these tables, and they are provided for one year on the work sheet W1 with the same constitution. The amounts of money inputted to amount columns 6, 8, and 10 are automatically summed up, and sum totals are displayed in sum total columns 7, 9, and 11 of tables 1, 2, and 3. The amount of money in the sum total column 7 in the treatment charge input table 1 is reflected on the amounts of reception money classified by security classifications in the amount column 8. Results calculation based on sum totals in tables are displayed in balance columns of the balance display table 4. Amounts of money are entered in a ledger table, monthly and yearly total tables, and a expenditure statistic table on the basis of the amounts of sum total in respective tables.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-52059

(P2001-52059A)

(43)公開日 平成13年2月23日(2001.2.23)

(51)IntCl. ⁷	識別記号	F I	テームコード(参考)
G 0 6 F 17/60		G 0 6 F 15/21	3 6 0 4 C 0 5 2
A 6 1 C 19/00		A 6 1 C 19/00	Z 5 B 0 4 9
G 0 6 F 19/00		G 0 6 F 15/42	C

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平11-224147

(22)出願日 平成11年8月6日(1999.8.6)

(71)出願人 599111611

丹羽 智彦

東京都中央区銀座5-7-1

(72)発明者 丹羽 智彦

東京都中央区銀座5-7-1

(74)代理人 100078950

弁理士 大塚 忠

Fターム(参考) 4C052 LL07 PP00

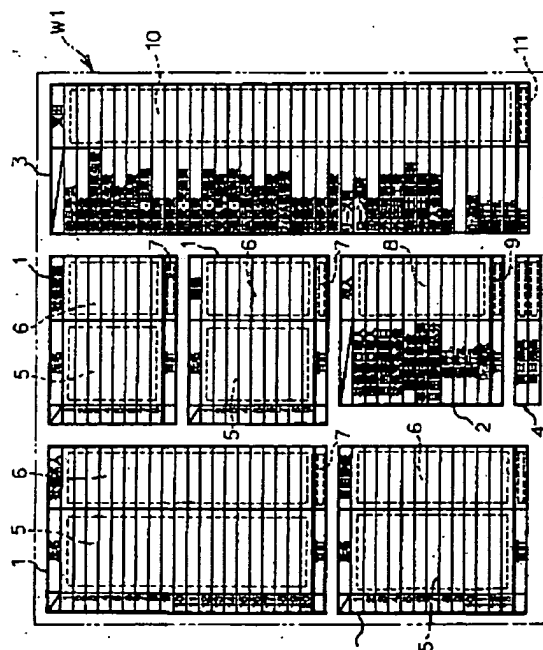
5B049 BB43

(54)【発明の名称】 歯科医院用経理支援プログラムを記録した媒体

(57)【要約】

【課題】 歯科医院における経理事務の効率化を図る。

【解決手段】 コンピュータの表示装置に複数のワークシートW1・・・を択一的に切り替えて表示させる。ワークシートW1には、医療保険の種類別に治療費を入力させる治療費入力テーブル1、収入金額を科目別に入力させる収入金額入力テーブル2、支出金額を科目別に入力させる支出金額入力テーブル3及び残高を表示する残高表示テーブル4を設ける。これらのテーブルは一日単位の収支を記録し、ワークシートW1上に同一の構成で一年分設ける。各テーブル1, 2, 3, の合計欄7, 9, 11は金額欄6, 8, 10に入力した金額を自動的に合算し、表示する。金額欄8中の保険別収入金額は、治療費入力テーブル1の合計欄7の金額を反映させる。残高表示テーブル4の残高欄12, 13は各テーブルの合計額に基づいて計算し表示する。これらの入力金額に基づいて元帳テーブル、月計・年計テーブル、支出統計テーブルに金額を形成させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 表示装置及び入力装置を有するコンピュータシステムを用い、

国民健康保険、社会保険、被社会保険者の家族及び非保険扱いなどの適用される保険種類別に複数の治療患者の氏名及び治療費の金額の入力を受け付ける治療費入力機能と、

入力された各金額から一日単位の保険種類別の合計額を算出させる保険別集計機能と、

この保険別集計機能による合計金額を反映させて入力されると共に科目毎の収入及び支出金額の入力を受け付ける収入及び支出額入力機能と、

この収入、支出額入力機能により入力された収入、支出金額から各合計金額を算出させる収入及び支出集計機能と、

前日の残高金額を反映させ入力されると共にこれに前記収入及び支出集計機能による収入合計額を合算し、支出合計額を減算して当日の残高を算出させる残高集計機能とを

実行させ、
収入、支出及びこれらの合計並びに残高の各金額を一日単位で区分けし、これを表示画面に連続して一年間分繰り返し表示させることを特徴とする歯科医院用経理支援プログラムを記録した媒体。

【請求項2】 前記保険別集計機能による保険別合計額と、科目毎の収入及び支出額と、前記残高集計機能による残高額とを反映させて元帳要素が入力される元帳要素作成機能を実行させ、

一日単位の元帳要素を区分けし、これを表示画面に連続して一年間分繰り返し表示させることを特徴とする請求項1に記載の歯科医院用経理支援プログラムを記録した媒体。

【請求項3】 前記保険別集計機能による保険別合計額に基づいて各保険別の月間合計金額を算出させる保険別月間合計額集計機能と、

この保険毎の月間合計金額から月別の治療費合計金額を算出させる月間治療費集計機能と、

前記保険別の月間合計金額から一年を通じた年間保険別治療費合計金額を算出させる年間保険別治療費集計機能と、

前記月間治療費合計金額から一年を通じた年間治療費合計金額を算出させる年間治療費集計機能とを

実行させ、
月間及び年間の治療費を集計させることを特徴とする請求項1に記載の歯科医院用経理支援プログラムを記録した媒体。

【請求項4】 前記収入及び支出額入力機能による科目毎の金額から月間科目別支出合計金額を算出させる月間科目別支出額算出機能と、

この月間科目別支出合計金額から一年を通じた年間科目別合計支出金額を算出させる年間科目別支出額算出機能と、

前記月間科目別支出合計金額から月間支出合計金額を算出させる月間支出額算出機能と、

前記月間支出合計金額を一年を通じた年間支出合計金額を算出させる年間総支出額算出機能とを実行させ、各金額を表示装置に表示させることを特徴とする請求項1に記載の歯科医院用経理支援プログラムを記録した媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、歯科医院の一日の経理事務に基づいて一日単位、月間単位又は年間単位の収支の集計を自動的に行わせるためのコンピュータプログラムを記録した媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、歯科医院における経理事務は、治療患者の氏名や治療費などを個別に帳簿に手書きで記入することにより行われている。もし、この作業を自動的に行うために機械化するとすれば、専用のコンピュータをハード面及びソフト面でセッティングしなければならず、個人経営の歯科医院では高額な負担になってしまい、現実的でない。しかしながら、近年処理能力の向上や低価格化に伴いコンピュータの普及がめざましく、ハード面での導入の障害が解消されつつある。それにも関わらず、この分野ではソフト面で立ち遅れており、実際の経理事務の現場に適したプログラムがなく、コンピュータを使用した経理作業の効率化が強く望まれている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】そこで、本発明は、安価なコンピュータを使用して簡単に経理事務の作業を遂行でき、事務の効率化、データの保存管理の容易化を図る歯科医院用経理支援プログラムを記録した媒体を提供することを課題としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため、第1の発明においては、表示装置及び入力装置を有するコンピュータシステムを用いて、国民健康保険、社会保険、社会保険者の家族及び非保険扱いなどの保険種類別に複数の治療患者の氏名及び治療費の金額を入力させ、入力された各金額から一日単位の保険種類別の合計額を算出させ、この保険別に集計した合計金額を反映させると共に科目毎の収入及び支出金額を入力させ、この入力された収入及び支出金額から各合計額と残高額を算出させ、収入、支出及びこれらの合計並びに残高の各金額を一日単位で区分けし、これを表示装置の画面に連続して一年間分繰り返し表示させるように歯科医院用経理支援プログラムを記録した媒体を構成した。第2の発明においては、保険別合計額と、科目毎の収入及び支出額と、残高額とを反映させて、表示装置に一日単位の元帳要素を一年分にわたり繰り返し表示させるようにした。第3の発明においては、保険別治療費合計額に基づいて各保険別の月間合計金額を算出させ、この保険毎の

月間合計金額から月別治療費合計金額を算出させ、保険別の月間治療費合計金額から一年を通じた年間保険別治療費合計金額を算出させ、月間治療費合計金額から一年を通じた年間治療費合計金額を算出させるようにした。第4の発明においては、科目毎の支出金額から月間科目別支出合計金額を算出させ、この月間科目別支出合計金額から一年を通じた年間科目別合計支出金額を算出させ、月間科目別支出合計金額から月間支出合計金額を算出させ、月間支出合計金額から一年を通じた年間支出合計金額を算出させて、表示装置に表示させるようにした。

【0005】

【発明の実施の形態】本発明の実施の一形態を図面を参照して説明する。本発明に係るコンピュータプログラムは、これを組み込んだ本体、入力装置、表示装置及び印刷出力装置から成る汎用のコンピュータシステムを用いて実行される。表示装置の画面には、複数の表示画面が択一的に切り替えて表示される。例えば、図1乃至図4に示すように、複数の仮想のワークシートW1、W2・・・を重ねて表示させ、各ワークシートW1、W2・・・のタブをマウスポインタなどの支持手段で選択することにより表示するワークシートを切り替えるようにする。

【0006】図1に示すように、第1のワークシートW1には、治療患者に適用される医療保険の種類別に設けられた治療費入力テーブル1と、収入金額を入力するための収入金額入力テーブル2と、支出金額を入力するための支出金額入力テーブル3と、前日残高及び当日残高を表示する残高表示テーブル4とを備えている。これらのテーブルには一日単位の収支関係が記録され、同一の構成でワークシートW1の画面下方に順次繰り返して配置され一年分の基本的な入力帳簿が形成される。

【0007】治療費入力テーブル1は国民健康保険扱い、社会保険扱い、被社会保険者の家族扱い及び保険治療を適用しない自由診療扱いの四つに区別されて設けられている。治療費入力テーブル1内には、縦方向に複数の治療患者名を入力するための氏名欄5と、この各治療患者に請求する治療費を夫々入力するための金額欄6と、この金額欄6に金額が入力されたら各金額を自動的に合計するように予め設定され、保険種類別の合計額を表示する合計欄7とを備えている。

【0008】収入金額入力テーブル2には、縦方向に並んだ複数の収入科目毎に収入金額を入力するための金額欄8と、これに入力された収入金額を合計するように予め設定され、その合計額を表示する合計欄9とを備えている。金額欄8中の保険別の収入金額には、治療費入力テーブル1内の合計欄7の金額も自動的に反映されて表示される。なお、金額欄8の中の銀行払い戻し金の一つには、後記する金額入力テーブル3内の支出合計金額が反映して表示される。

【0009】支出金額入力テーブル3には、縦方向に並んだ複数の支出科目毎に支出金額を入力するための金額欄10と、これに入力された支出金額を合計するように予め設定され、その合計額を表示する合計欄11とを備えている。

【0010】残高表示テーブル4には、前日残高欄12と、当日残高欄13とが上下二段に表示される。前日残高欄12には、前日における当日残高欄13の残高額が反映して表示されるが、1月1日のものには金額が入力される。当日残高欄13には、前日の残高額に収入金額入力テーブル2の合計欄9の金額を加算し、支出金額入力テーブル3の合計欄11の金額を減算して残高を算出するように予め設定され、この金額が表示される。

【0011】図2に示すように、第2のワークシートW2には、一日単位の元帳テーブル14が画面下方に順次繰り返して配置され一年分の元帳として構成される。元帳テーブル14には、縦方向に夫々並んだ複数の科目毎に収入、支出金額が収入金額入力テーブル2、支出金額入力テーブル3から反映されて表示される金額欄15、16を備えている。支出の金額欄16の隣の列の最下段には、残高表示テーブル4の当日残高欄13の残高額が反映されて表示される残高表示欄17が設けられている。

【0012】図3に示すように、第3のワークシートW3には、保険種類別の治療費を月毎に集計した月計・年計テーブル18を備えている。この月計・年計テーブル18には、各月毎の保険種類別の治療費の合計を表示する金額欄19を有する。金額欄19には、収入金額入力テーブル2における金額欄8の保険種別収入金額が月を通じて合算されるように予め設定されている。金額欄19の隣の列には、各月の保険種類別の治療費の合計額が合算されるように予め設定され、この金額が表示される合計欄20が設けられている。また、金額欄19の下部の行には、保険種類別の治療費の一年を通じての合計額が算出されるように予め設定され、この金額が表示される合計欄21が設けられている。そして、合計欄20の下部行には、合計欄20を一年を通じて合計するように予め設定され、この総計金額が表示される総計欄22が設けられている。

【0013】図4に示すように、第4のワークシートW4には、科目別の支出金額を月毎に集計した支出統計テーブル23を備えている。支出統計テーブル23には、各月毎の科目別の合計金額を表示する金額欄24を有する。この金額欄24には、支出金額入力テーブル3における金額欄10の支出金額が月を通じて合算されるように予め設定されている。金額欄24の隣の列には、年間の科目別の合計を算出するように予め設定され、この合計額を表示する合計欄25を有する。また、金額欄24の下部の行には、月別の支出額の合計を算出するように予め設定され、この合計額が表示される合計欄26が設

けられている。そして、合計欄25の下部行には、合計欄26の金額を一年を通じて合計するように予め設定され、この総計金額が表示される総計欄27が設けられている。

【0014】上記歯科医院用経理支援プログラムが組み込まれたコンピュータにおいては、表示装置で第1のワークシートW1を表示し、入力装置で入力操作を行う。治療患者の保険の種別に応じて治療費入力テーブル1に氏名、金額を入力していく。金額が入力されたら、保険種類別の合計額が合計欄7に表示されると共に、収入金額入力テーブル2の対応する科目の金額欄8に表示される。また、収入金額入力テーブル2及び支出金額入力テーブル3における所定の科目の金額欄8、10に収入、支出金額が入力されたら、各テーブルの合計欄9、11に自動的に合計額が表示されると共に、残高テーブル4に残高が表示される。

【0015】収入金額入力テーブル2及び支出金額入力テーブル3に入力され、あるいは集計された金額は第2のワークシートW2の元帳テーブル14の金額欄15、16に反映して表示される。治療費入力テーブル1、収入金額入力テーブル2、支出金額入力テーブル3、残高テーブル4及び元帳テーブル14は、一日の扱い分がテーブルに夫々記録される。そして、第3のワークシートW3において月間及び年間の保険種類別の治療費の合計額が表示され、第4のワークシートW4において月間及び年間の科目別の支出合計額が表示される。なお、第3、第4のワークシートW3、W4を基に必要に応じてグラフ化して視覚的に確認するようにしても良い。

【0016】

【発明の効果】以上のように、本発明は、歯科医院における経理事務の作業を低額の汎用コンピュータを用いて簡単に行うことができるので、帳簿の手書き作業の不便を廃して比較的安価に経理事務の効率化を図ることができるし、データの保存管理も簡単になるという効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る歯科医院用経理支援プログラムの第1のワークシートの平面図である。

【図2】第2のワークシートの平面図である。

【図3】第3のワークシートの平面図である。

【図4】第4のワークシートの平面図である。

【符号の説明】

- 1 治療費入力テーブル
- 2 収入金額入力テーブル
- 3 支出金額入力テーブル
- 4 残高表示テーブル
- 5 氏名欄
- 6, 8, 10, 15, 16, 19, 24 金額欄
- 7, 9, 11, 20, 21, 25, 26 合計欄
- 12 前日残高欄
- 13 当日残高欄
- 14 元帳テーブル
- 17 残高表示欄
- 18 月計・年計テーブル
- 22 総計欄
- 23 支出統計テーブル
- 27 総計欄
- W1, W2, W3, W4 ワークシート

【図1】

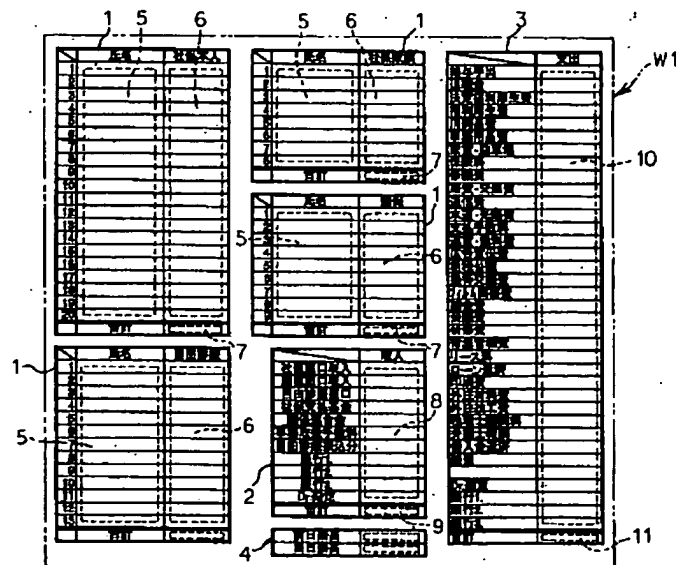


Figure 1 is a schematic diagram of a data processing system. It features a central vertical column of data blocks, with the top section labeled 14, 15, and 16. These blocks are connected to a horizontal row of data blocks labeled 17. A large rectangular area on the left side of the diagram is labeled W2. The diagram illustrates the flow of data between these components.

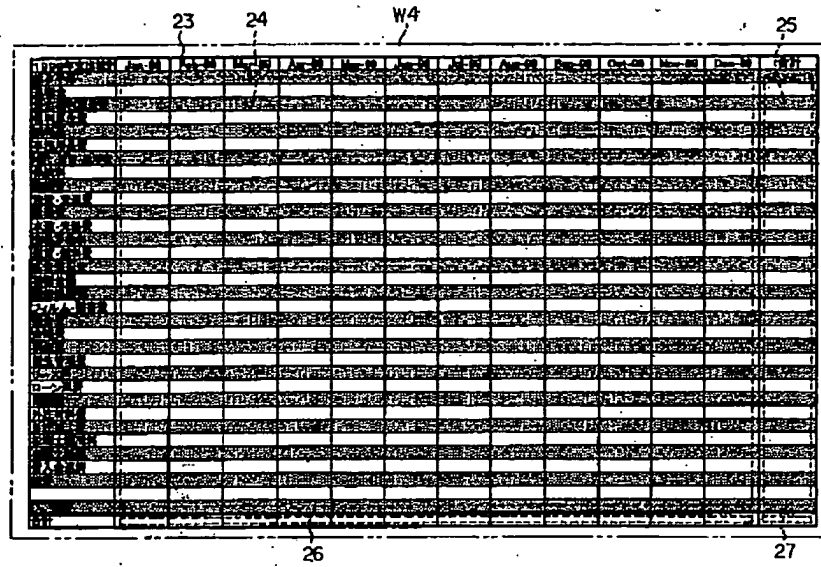
W3

18 19 **1999年月計・年計**

	社会保険	国民保険	自由診療	合計
1999年1月				
1999年2月				
1999年3月				
1999年4月				
1999年5月				
1999年6月				
1999年7月				
1999年8月				
1999年9月				
1999年10月				
1999年11月				
1999年12月				
合計				

21 22

【図4】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.